

来月の消費予報

6月の消費意欲指数は前月・前年から下げ止まるも、依然雨模様。 エンタメ関連では消費意向が高まる

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

※5月7-9日に調査(詳細はP5)

2025年6月の消費意欲指数は43.8点。前月比で-0.2pt、前年比で+0.5ptと、ともに横ばいとなりました。

6月の消費意欲指数



【前月比】

-0.2 ポイント

【前年比】

+0.5 ポイント

■：前月比／前年比で上昇 ■：前月比／前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比／前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比／前年比で20人以上減少

「来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人により、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

6月のポイント

Point1 大型連休の反動や物価高の影響で、消費意欲指数は低水準で推移

例年6月は大型連休と夏休みの狭間で消費意欲指数が低下する月ですが、今年は前月比で-0.2ptと横ばいになりました。前年比でも+0.5ptと横ばいですが、過去5年の6月のうち2番目に低い数値です。消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、前月と比べて、消費にポジティブな回答(5月334件→6月291件)は減少し、ネガティブな回答(5月857件→6月928件)は増加しました。具体的には、ポジティブな回答で、「(大型連休がある、服が欲しいなど)季節的な意欲向上(5月131件→6月45件)」が大幅に減少し、「旅行の予定がある/行きたい(5月48件→6月23件)」も減少しています。ネガティブな回答では、「欲しいものがない・意欲がない(5月351件→6月391件)」「5月までに多く使ったのでセーブ(5月55件→6月92件)」「梅雨の時期なので出かけたくない(5月0件→6月23件)」が増加しました。

前年と比べると、消費にポジティブな回答(24年6月287件→25年6月291件)、ネガティブな回答(24年6月934件→25年6月928件)は、ともにほぼ横ばいでした。具体的には、ポジティブな回答で、「(季節もの以外で、買い物など)出費の予定・欲しいものがある(24年6月70件→25年6月97件)」が増加しました。ネガティブな回答では、「欲しいものがない・意欲がない(24年6月426件→25年6月391件)」が減少しました。また、「物価高・値上げ・円安」は、前月からやや減少し、5月までの3ヵ月連続の増加に歯止めがかかったものの(5月185件→6月160件)、前年比では大幅に増加しており(24年6月114件→25年6月160件)、引き続き注視する必要があります。

5月の大型連休を終えたことによる節約意識や、慢性化する物価高の影響により、6月の消費意欲は前月同様に控えめとなりそうです。

Point2 消費意向は新ゲーム機の発売でエンタメ関連を中心に前月・前年比増

「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合は28.6%で、前月比で+3.1ptと大きく上昇し、前年比でも+2.8ptと上昇しました。

16カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「書籍・エンタメ」「家電・AV」が20件以上増加し、「旅行」が20件以上減少しています。前年比では「書籍・エンタメ」「飲料」が20件以上増加しました。

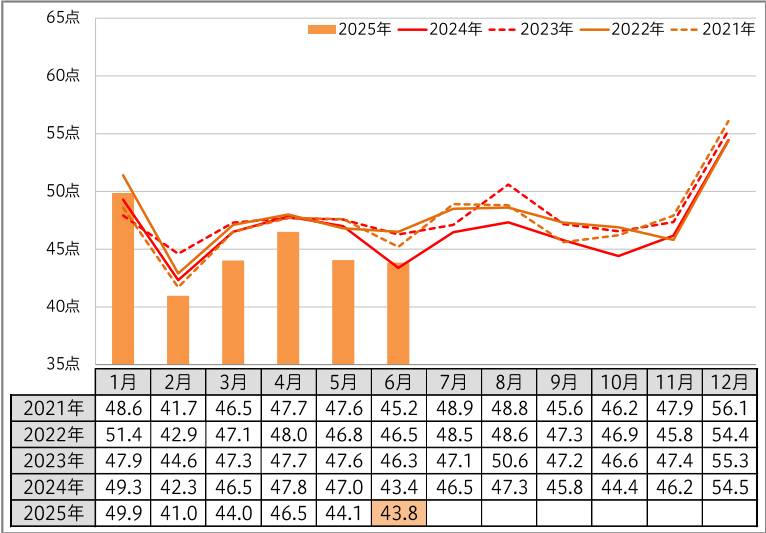
新しいゲーム機発売の話題もあってか「書籍・エンタメ」などのインドア関連のカテゴリーを中心に消費意向が高まりそうです。

消費意欲指数

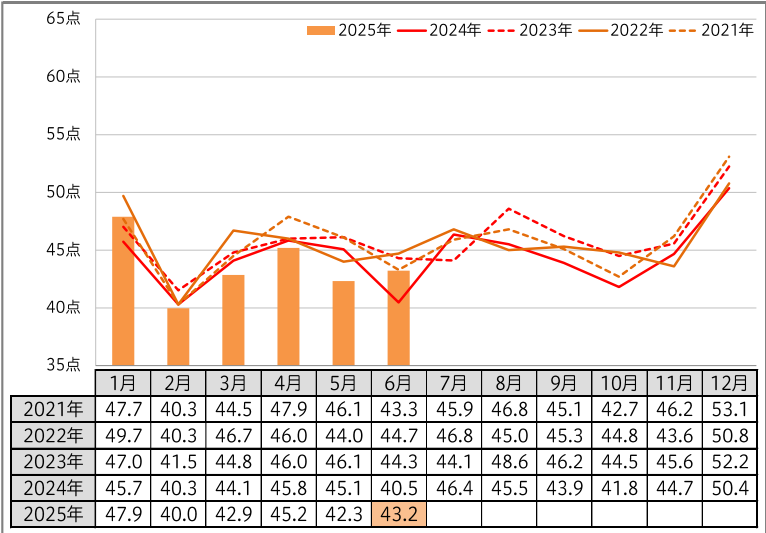
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

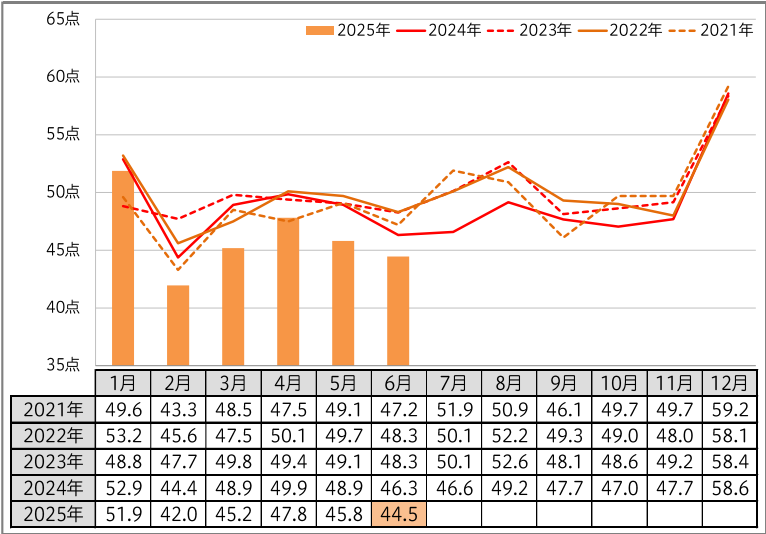
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

性別/年代別比較

	(点)						(pt)	
	25年1月	25年2月	25年3月	25年4月	25年5月	25年6月	25年6月比較	
							前月比	前年比
全体	49.9	41.0	44.0	46.5	44.1	43.8	-0.2	+0.5
男性	47.9	40.0	42.9	45.2	42.3	43.2	+0.9	+2.8
女性	51.9	42.0	45.2	47.8	45.8	44.5	-1.4	-1.9
20代	55.6	44.9	46.3	48.8	45.9	47.2	+1.3	+1.9
30代	53.0	42.7	42.7	47.1	45.9	48.4	+2.5	+5.1
40代	50.7	37.8	43.5	47.4	42.8	43.4	+0.6	+0.3
50代	45.3	38.0	44.0	43.2	41.9	40.6	-1.3	-1.0
60代	46.6	43.5	44.0	47.1	45.0	41.2	-3.8	-3.4

※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

+3pt以上の増加
-3pt以上の減少

消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声 ～消費意欲指数の理由～【5月までに多く使ったのでセーブ】>

- ・今月に旅行を終え、節約の月とする予定のため(30点・男性23歳・大阪府)
- ・4月5月は出費がかさむのでその影響と、ボーナス前なので(20点・男性36歳・東京都)
- ・4月に大きな出費をしたから、当分の間は消耗品だけ購入したい(10点・男性44歳・愛知県)
- ・5月連休にお金を使ってしまったので、6月は緊縮財政とするため(20点・男性55歳・愛知県)
- ・買いもの多すぎ(30点・男性60歳・埼玉県)
- ・ゴールデンウィーク等で出費があり控えたいため(20点・女性26歳・愛知県)
- ・今月、予想以上に使ってしまったので節制したいから(40点・女性36歳・大阪府)
- ・今年の前半で旅行に行ったり外食したりと結構お金を使ったので、特に予定のない6月は出費を抑えたいので。また、自動車税や市県民税などの支払いがこの時期にあるので、そちらにお金を回したいので(10点・女性42歳・愛知県)
- ・4月は引越したのでどうしてもいろいろと出費が多くなり、5月はゴールデンウィークで予想外にも出費が多くなったので、6月はもういいだろうという感じ(20点・女性51歳・神奈川県)
- ・今年はゴールデンウィークに旅行に行ったので使った娯楽費分を考えると、これから半年はお金を使いたくない(10点・女性61歳・大阪府)

<生活者の声 ～消費意欲指数の理由～【梅雨の時期なので出かけたくない】>

- ・梅雨時で、新しいことを始めるつもりや旅行の予定がないため(30点・男性47歳・兵庫県)
- ・梅雨入りして買いもの時に雨が降ると購入意欲がなくなる(20点・男性54歳・大阪府)
- ・ジメジメとした時期にあまり購入する意欲が出ません(30点・男性55歳・愛知県)
- ・梅雨入りする時期のため、旅行や遠出をする予定もないし、日常生活のための出費しか考えていないから(20点・男性60歳・東京都)
- ・梅雨時期は意欲減退(30点・男性64歳・東京都)
- ・梅雨の時期だから(40点・女性28歳・大阪府)
- ・お天気も悪いだろうし、祝日もないし、買いに出かけることが少なくなりそうだから(30点・女性50歳・埼玉県)
- ・物価高もあり、ずっと購買意欲が低迷している上に、梅雨で外出も控えめになると思うから(30点・女性52歳・大阪府)
- ・梅雨時で、あまり外出したくない(20点・女性62歳・東京都)
- ・6月は梅雨の季節だから、あまり外に出たくない。洋服やらを買いに行きたいとは思わない(10点・女性65歳・大阪府)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2025年6月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	28.6	+3.1	+2.8
男性	25.7	+3.6	+2.2
女性	31.6	+2.7	+3.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(429人)

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	203	+ 7	+17
2	ファッション	188	+ 2	+ 9
3	外食	187	+ 8	+18
4	飲料	158	+16	+26
5	旅行	156	-28	+17
6	書籍・エンタメ	139	+33	+37
7	化粧品	114	+14	+14
8	レジャー	112	- 3	+ 5
9	日用品	106	- 1	+ 4
10	理美容	104	- 2	+ 5
11	家電・A V	86	+20	+ 8
12	インテリア用品	55	+ 2	+ 7
13	パソコン・タブレット・周辺機器	53	- 1	+11
14	スマートフォン・携帯電話	48	+ 6	+12
14	装飾品	48	+ 3	- 9
16	車・バイク	44	+ 7	+16

参考：男性(194人)

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	81	+ 5	- 4
2	旅行	76	-16	+ 4
3	ファッション	75	+14	+10
4	書籍・エンタメ	72	+22	+21
4	外食	72	+ 4	- 5
6	飲料	65	+ 6	±0
7	レジャー	55	+ 5	+ 7
8	家電・A V	50	+19	+11
9	日用品	38	+ 6	+ 1
10	パソコン・タブレット・周辺機器	37	+ 1	+ 5
11	車・バイク	32	+ 4	+11
12	スマートフォン・携帯電話	27	+ 1	+ 7
12	理美容	27	- 3	+ 6
14	装飾品	21	+ 7	+ 2
14	インテリア用品	21	- 1	+ 5
16	化粧品	18	+ 4	- 1

参考：女性(235人)

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	122	+ 2	+21
2	外食	115	+ 4	+23
3	ファッション	113	-12	- 1
4	化粧品	96	+10	+15
5	飲料	93	+10	+26
6	旅行	80	-12	+13
7	理美容	77	+ 1	- 1
8	日用品	68	- 7	+ 3
9	書籍・エンタメ	67	+11	+16
10	レジャー	57	- 8	- 2
11	家電・A V	36	+ 1	- 3
12	インテリア用品	34	+ 3	+ 2
13	装飾品	27	- 4	-11
14	スマートフォン・携帯電話	21	+ 5	+ 5
15	パソコン・タブレット・周辺機器	16	- 2	+ 6
16	車・バイク	12	+ 3	+ 5

<全体にのみ下記基準で色付け>

- 前月比/前年比で20人以上増加
- 前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	125	139	167	190	135	756
女性	123	134	163	188	136	744
合計	248	273	330	378	271	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2025年5月7日(水)～9日(金) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 QO株式会社

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤・加藤) 03-6447-2992 seikatsusoken.info@hakuholdo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(成田・白川) 03-6441-6161 koho.mail@hakuholdo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2025-06/>)からダウンロードしていただけます。